

錆び取り剤 R55

●用途（鉄系のあらゆる金属に発生した錆び・錆び汁を除去）

- ◎ 自転車・バイク・車などの車体周り、タンク内部のあらゆる錆取り
- ◎ プレハブや家屋の屋根・壁・ドアなどあらゆる錆取り
- ◎ 大工や草刈りなどの機械・工具の錆取り
- ◎ コンクリート壁や石畳、モルタルなど建築物の錆汁汚れの除去に
- ◎ タンク外塗装やペイント塗装の下地処理
- ◎ 工事現場の鉄筋・鉄骨、橋梁の錆取り
- ◎ 道路標識、ガードレール、看板などのあらゆる錆取り

●使い方（錆取り剤が直接作用できるようにする！）

※ 必ず原液で使用ください。

■ 前処理のポイント

- ◎ 剥離している塗装膜やメッキ、表面錆びをブラシなどで除去
- ◎ 油汚れ・砂・粉塵・塩分などをできるだけ除去

■ 塗装下地処理のポイント

- ◎ 晴天で気温10度以上のより暖かな日の施工が好ましい（低温下では性能効果が低下）
- ◎ 反応速度を上げる場合、錆取り剤を60℃位に温め使用すると作業時間が短縮可能
- ◎ 夏場で対象物の温度が高すぎる時は、錆取り剤が揮発しないよう対象物の温度を適度に下げて施工

■ 施工方法

1. 浸漬、刷毛塗り、ローラー、噴霧で施工
 2. 塗布5～10分後、浮き出た錆カスを金属ブラシや紙ヤスリで擦り取る。
 3. 錆取り後は良く水洗いし乾燥させる。
- ◎ 取り切れない場合は、1.（塗布時間を伸ばす） 2. を繰り返す

■ 使用量の目安（錆の状況で使用量が要大幅変化）

- ◎ 軽度： 表面にうっすらした錆 20㎡/kg 1回の錆取り
- ◎ 中度： 下地の鉄と同じくらいの錆 10㎡/kg ブラッシング作業を加えた錆取り 4回繰り返す
- ◎ 重度： 鉄の下地が見えないほどの錆 2㎡/kg ブラッシング作業を加えた錆取り 8回繰り返す

■ 錆汁の除去方法

1. 外壁などのコンクリート、タイル、モルタル、金属類に付着した錆汁は、刷毛等で塗布後ブラシで擦れば透明になり落ちます。その後よく水洗い。
2. メッキや塗装の下から出ている錆汁は、メッキや塗装の上から直接塗布後、ふき取るか場合によりサンドペーパーで擦り取る。その後よく水洗いする。通常下地のメッキや塗装を痛めないが、亜鉛系の塗料には影響があるのでテストしてから施工。

■ コブ錆、うき錆、分厚い錆の除去方法

- ◎ 取り外せるものは、浸漬（ディッピング）すれば最短最適。
- ◎ 厚く硬いコブ錆などは錆の内部にまで錆取り剤が浸透しないので、多量に染みさせた不燃布を張り付け浸透時間を長くする、また状況によりラッピングするなど工夫し、金属ブラシ等でこすり薬剤が浸透できるように繰り返すと良く落ちます。作業途中で対象物の状態を確認しながら上記作業を繰り返してください。

■ より強い防錆状態にするには、R55を塗布後水洗いなどせず1日放置し、完全な黒錆（防錆状態）にする。

■ 錆取り後の作業

- ◎ R55が残らない様、良く水洗いし乾燥させるか布などでふき取る。乾燥後すぐ塗装できます。
- 錆取り後、白い粉（食品用の安全なリン酸）が出てきますが、そのまま使用いただいて大丈夫です。